

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市恩田地域ケアプラザ

2 事業報告概要

地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザの担当地区の高齢化率は、平成 28 年 3 月現在で約 17%であり、新しく中学校も新設されたことにより、新興住宅地の年齢層はやや若い人口の方がお住まいになっておりますが、徐々に高齢化は進む傾向にあります。
- ・地域の現状としては、各団体で長年活躍されている方のつながりが強く、昔からの関係性ができている地域特性があります。地域のニーズをより把握し、アセスメントするために、自治会や恩田地区社協、民生委員や老人会との関係を引き続き強化することが必要な努力と考えております。
- ・地域での課題としては、ケアプラザから離れている松風台、桂台、田奈町等の地域に対する働きかけを行い、関わりを積極的に行い、ニーズの把握により、各地域に出張したり、集いの場を構築していく等の調整を行い、柔軟に対応することが必要であると考えております。
- ・恩田地域ケアプラザの立地環境として、青葉区内では町田市との県境にあり、山間部にあたりますが、平成 27 年度にバス便が減るなど、交通の便がやや悪く、また坂道も多い為、高齢者世帯の移動手段が地域課題の声としてあがることが多いのが現状です。

3 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・機械警備、消防設備、空調機器、電気設備、昇降機及び害虫駆除、植栽管理について、定期点検等の業務委託契約を締結し、契約の通りに遂行しました。
- ・館内の日常清掃・定期清掃について、契約に基づき、日常清掃と定期全館清掃を行いました。
- ・設備総合巡視点検について、専門業者に委託し、総合的に施設の維持管理を行うことができました。
- ・毎月第 4 月曜日を施設点検日と定め、集中的に定期点検等を実施して参りました。
- ・毎日の業務終了時に、自主点検記録票をもとに全館をダブルチェックし、不具合等がないか日々の確認を行なって参りました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・事業の運営方針として、地域の利用者が自立した日常生活を営めるよう支援することを目標に、ニーズや要望を尊重し、公平中立にプランを作成し、地域の医療・福祉サービス事業者との連絡調整を行なって参りました。
- ・事業の実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めて参りました。
- ・業務の見直しを行い、経費の削減、節約に努めて参りました。

ウ 苦情受付体制について

- ・利用者、地域住民等からの苦情受付について、苦情を受けた職員は速やかに所長に報告を行い、所長は法人本部、区役所との綿密な連携で対処するとともに、苦情の内容については、苦情受付記録簿に記録し、情報の共有及び改善対策を講じることができるよう体制を整えて参りました。
- ・苦情処理に関し、窓口担当者及び管理者等、当事者の判断の他に公平な立場に立って苦情処理に関わる法人本部設置の第三者評価委員会の対応が行えるよう、体制を整えて参りました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ケアプラザ職員間の緊急連絡網を作成し事務所内に掲示して迅速な対応ができるよう体制を整えて参りました。
- ・防犯・防災の緊急対応については警備会社との契約により対応に備えております。
- ・館内の各部屋、ホール、トイレ等に避難経路を掲示し、定期的に利用者へ防災の促しを行って参りました。
- ・ケアプラザ内で2ヶ月に1回の防火防災訓練を実施し、火災時等の行動について、常に意識を高めて参りました。
- ・天災・地震等緊急時の対応については、避難場所が隣接のあかね台中学校であることを職員間で周知し、利用者の誘導にあたるよう体制を整えて参りました。
- ・災害時における在宅要援護者のための特別避難場所として、応急備蓄物資を備え、緊急時の対応に備えて参りました。

オ 事故防止への取組について

- ・毎年、定期的に事故防止の研修を行い、職員全体の意識向上に努めて参りました。
- ・ヒヤリハットの事例があれば、検討会を適宜開催し、予防対策を講じる体制を整えて参りました。
- ・FAX誤送信や個人情報漏えいの事故を予防する為に、定例会議や職場内研修での周知を定期的に行い、ダブルチェック体制で確認作業を行って参りました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報の保護に関する法律及び横浜市個人情報保護に関する条例、秘密保護に関する全ての法令並びに個人情報取扱い特記事項について、職場内研修や会議等の場を通して十分に理解するよう周知を図って参りました。
- ・利用者等の個人情報について、ファイル等は鍵がかかるキャビネットでの保管を義務付けて管理して参りました。
- ・個人情報の持出について、個人情報のファイル持出と返却を個人情報持出簿でダブルチェックし個人情報の紛失予防に細心の注意を払って参りました。

キ 情報公開への取組について

- ・第三者評価制度に基づき、評価を受け、施設の取り組み事項について公表を行っております。
- ・利用者への事業案内、貸館の利用について、個人情報の取扱い、苦情処理等の対応、第三者委員の明示、居宅介護支援事業所運営規程、介護予防支援事業所運営規程等を掲示し、利用者への情報公開を行っております。

ク 人権啓発への取組について

- ・「人権の擁護」と「権利擁護」について、全職員を対象に職場内研修を行い、子どもから高齢者までが集う保健福祉活動の拠点としての意識を高め、地域の誰もが安心して暮らせる地域作りについての認識を深めて参りました。
- ・「人権」や「権利の擁護」について、幅広く、様々な問題があるが、出来る限り、地域住民の皆様にも理解していただけるよう、掲示板やポスターでの啓発、ケアプラザでの事業等で機会に応じて職員からの啓発や、考えるきっかけとなるような取組みを行なって参りました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・館内の施設について、日常清掃、定期全館清掃を業者に委託して実施しました。
- ・館内の敷地周辺部の植栽について、専門業者による管理を行い美化に努めて参りました。
- ・節電について、館内照明の管理と、エアコンの節電を徹底し省エネに努めて参りました。
- ・館外の外灯は、季節に応じて、点灯時間を適正に管理しております。
- ・廃棄ゴミ処理について、横浜市のリート回収を利用し、廃棄ゴミ分別の徹底を図っております。

4 介護保険事業

(1) 介護予防支援事業

《職員体制》

| | |
|------------------|-----------|
| 管理者・社会福祉士 | 1名（常勤 兼務） |
| 主任ケアマネジャー | 1名（常勤 兼務） |
| 看護師 | 1名（常勤 兼務） |
| 介護予防プランナー（社会福祉士） | 1名（非常勤） |

《目標》

- ・ 住み慣れた地域で出来る限り自立した生活が継続できるよう、ご本人の自主性を重視し公平を期しつつ適切なサービス調整を心がけました。
- ・ 担当者が不在時でも利用者様にご負担がかからないよう個人情報に留意しながら必要最低限の情報は共有しチームで支援できるような体制を取りました。
- ・ 委託先の居宅介護支援サービス事業所とは日頃から連携できるよう、必要時は同行訪問やサービス担当者会議等に参加し意見交換を行いました

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担は無しです。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険のサービスばかりでなくインフォーマルなサービスやケアプラザの事業を積極的に情報提供し、地域に根差した支援を心掛けています。

《利用者実績》

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 124 | 121 | 124 | 125 | 127 | 127 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 124 | 126 | 134 | 133 | 132 | 133 |

(2) 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 常勤兼務 1名
介護支援専門員 常勤専従 3名

《目標》

地域包括支援センターをはじめ、行政機関や医療機関・福祉サービス事業所、地域のインフォーマル資源や福祉保健団体との連携を密に行い、住み慣れた地域での在宅生活を支援します。本人の自立支援のみならず、家族支援も視野に入れ、総合的な支援が行えるよう努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●サービス提供範囲内の利用者負担なしです。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・管理者を含め、4名の介護支援専門員が在籍。
介護支援専門員の経験年数や基礎資格は異なりますが、これまでの経験を活かし、職員間での情報の共有を行い、様々なケースに取り組んでおります。
- ・5月より特定事業所加算Ⅲを取得しました。介護支援専門員としての資質向上を図る為の研修会へ積極的に参加し、職場内においても、共有の為の研修を行っております。

《利用者実績》

【単位：人】

| 4月□ | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| 78 | 82 | 92 | 89 | 91 | 89 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 85 | 84 | 86 | 89 | 86 | 91 |

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

●

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| | | | | | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | | | | | |

(4) 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

●

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| | | | | | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | | | | | |

5 地域ケアプラザ

ア 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・高齢世帯ばかりでなく認認介護、障害や無職の中高年の子がいる世帯やダブルケア世帯など、総合相談もより複雑になってきており地域の専門機関との連携が重要になってきています。28年度は後見的支援室への相談などで連携を深めました。

イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・認知症、障害、子どもなどをキーワードに地域交流、生活支援コーディネーター、包括センターが連携し合い、企画段階から話し合い、役割分担しながら地域のサロンに出向いたり講座を開催したり、介護予防事業の実施などを行ってきました。

ウ 職員体制・育成

- ・ 所長 常勤 1 名
 - ・ 地域包括支援センター 常勤 3 名
 - ・ 地域活動交流部門 常勤 1 名 非常勤 4 名
 - ・ 生活支援コーディネーター 常勤 1 名
 - ・ 居宅介護支援部門 常勤 3 名
- ◎部門ごとの月例会議及び包括・地域交流・生活支援部門合同の5職種会議、職員全体会議、それぞれの場で情報共有を行い、各研修計画に基づきスキルアップに努めて参りました。

エ 地域福祉のネットワーク構築

- ・ 地区社協、民生児童委員、自治会、老人クラブ等の集まりや行事には積極的に参加し、連携、協力体制、顔の見える関係性作りに努めて参りました。
- ・ 地域の福祉サービス事業所や医療機関の他、多くの地域住民の方にも地域ケア会議等に参加して頂き、地域全体で課題を共有し解決策を考えていけるようなネットワーク作りを意識して参りました。

オ 区行政との協働

- ・ 区の各担当者とは報告・連絡・相談を基本に、積極的に情報交換を行い、困難ケースへの支援、地域の課題等に対し、解決に向けて連携を図って参りました。また地区別推進会議ではケアプラザ祭りと共催し、あかね台中学校と連携し、多世代交流の活動を行うことができました。

6 地域活動交流部門

ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ ブログを適宜更新し、事業の報告やこれから実施する事業の案内を行いました。また、「広報よこはま」に記事掲載を依頼し、広く事業の案内をしました。ケアプラザ広報紙「みんなの和」を年4回発行しました。
- ・ 広報誌にて、隣接している中学校の福祉委員の日頃の活動を載せることで、隣接している学校と地域を結びつけ、エコキャップ収集に協力しました。
- ・ 毎月作成している事業カレンダーをブログに掲載し、若い世代の方もケアプラザの情報を簡単に入手出来、事業に参加しやすいよう工夫しました。子育て中の保護者から手軽に確認出来ると重宝されております。
- ・ 近隣の老人会が毎月発行している新聞に、ケアプラザの取り組み等を掲載して頂いております。ケアプラザの情報が直接に届く為、老人会会員にも喜ばれております。
- ・ 小学生向け事業は近隣の小学校5校にご協力を頂き、児童数のチラシを配布して、事業に参加しやすいようにしました。高齢者向けの事業は高齢者の集まりの際に案内する等、対象者に適切に情報が届くよう工夫しました。大規模な集合住宅や近隣のスーパー、医療機関にもチラシの掲示をお願いし、情報提供する場を増やしました。
- ・ 地域のコミュニティーカフェや子育てひろば等、地域で活動する団体の集まりに参加し、地域の方との関係の構築に努め、情報収集をしました。
- ・ 事業を行った後にアンケートを取り、地域のニーズを適宜把握して参りました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 地域で活動する団体への部屋の貸出を行いました。
- ・ 活動団体に部屋の貸出があることをブログや広報紙を使ってPRしております。
- ・ 登録している団体の活動が誰でも分かるよう、ケアプラザ窓口に福祉保健支援団体の活動を紹介するファイルを置き、地域の方が参加しやすいように工夫しました。
- ・ 地域の方が福祉保健支援団体を知る機会を設ける為、各団体と体験会を実施し、地域の方が気軽に活動団体へ参加出来るよう支援しました。
- ・ 登録団体の活動を広く発信する為に館内の掲示板を活用したり、広報誌で紹介したりしました。
- ・ 新たに福祉保健支援団体として登録される場合は部屋の貸出状況を案内し、活動しやすいよう配慮しました。平成29年4月より貸館利用方法が変更になる為、説明会を2回行いました。個別に説明の機会を設けたことで、混乱することなく、継続して利用して頂いております。
- ・ 福祉保健支援団体の協力のもとケアプラザの事業を実施したり、近隣にあるコミュニティーカフェ等で演奏会等を行い、参加者からも活動団体にも喜ばれました。

ウ 自主企画事業

- ・「恩田今昔物語」では地域の課題を5つ（認知症・子どもの貧困・障がい・環境整備・子育て）を取り上げ、地域で課題に取り組む方を講師に迎えて話を聞いた後、自分達で出来ることを話し合いました。参加者の中には地域でサロンを立ち上げる方や福祉施設でボランティアを始められる方等も出る等、新たな活動に結びつけることが出来ました。
- ・「恩故知新隊」を結成し、地域の歴史を知る方と共に歩いたり、恩田地区に長年暮らしている方から生活の移り変わりを聞いたりして、地域の魅力を再発見しました。事業の企画段階から地域住民に参加して頂き、楽しく参加出来るよう工夫しました。
- ・「悠 YOUmen's」を2グループ実施し、自宅でも作れる簡単な料理を作るよう学びながら、地域にお住いの男性が仲間作りをしました。活動の一環として、ケアプラザの「ふれあいフェスタ」での出店や「みんなで昼食会（高齢者を対象とした食事会）」では食事会の作り手として協力して頂きました。
- ・地域に住む主婦層を対象に手芸講座を月2回実施し、手芸で小物を作るという身近なことが地域貢献になることを体験しました。
- ・「生活お役立ち講座」を7回実施し、「まち歩き」「アロマで健康増進」「生前整理」等、様々なテーマを取り上げて、今すぐ生活役立つ最新の情報を発信しました。
- ・未就園児を対象としたフリースペース「大きいいちご」「小さいいちご」「親子のひろば」を常設し、保育園と共催で子育てに関わる講座を行ったり、ボランティア保育士とピアニストによる「あゆちゃんとうたってあそぼう」を月1回行い、子育て中の保護者が子育てを楽しみながら、仲間作りが出来るような機会を増やし、孤立を防ぐよう努めました。

エ ボランティアの育成及びコーディネート

- ・「コーヒーで地域貢献」「お花のボランティア」の講座を受講された方が、ボランティア人材として継続して地域で活動出来るよう支援しました。お花のボランティアはケアプラザの玄関前にお花を育て、ケアプラザに訪れた方に喜ばれました。コーヒーボランティアは地域にある高齢者施設内でサロンを実施し、好評でした。どちらも好きなことで地域に貢献出来るということで、継続して活動されています。
- ・あかね台中学校と連携協力し、定期テスト前にボランティア先生がいる自習室を実施しております。地域の方にボランティア先生として協力して頂いております。
- ・地域住民が中心となって立ち上げたコミュニティーカフェ、「松風サロン」を安定した運営が出来るよう支援しました。
- ・コミュニティーカフェや地域の集まりに、ケアプラザに登録されている楽器演奏や演芸のボランティアを紹介し、集まりが盛り上がるよう支援しました。
- ・登録団体が地域の活動参加出来るよう、もしくは必要とされている場に適切に繋がるようコーディネートしました。
- ・あかね台中学校の生徒会・福祉委員、各部活動に所属する生徒にケアプラザ事業やフェスタに参加・協力して頂き、日頃の成果を発表し、地域活動のきっかけ作りを行いました。

7 地域包括支援センター

(1) 総合相談・支援

ア 総合相談

- ・ 恩田地域ケアプラザ包括支援センターの存在も徐々に浸透してきており相談件数も増えてきました。(前年度より5%増加)しかし来所相談は近隣エリアが多く、やはり地理的な要因もあり来所にいくいとの声もあり、できる限り出向いて相談を受けるようにしてきました。
- ・ さまざまな相談が寄せられる中で、認知症の対応や受診先で悩まれているご家族、遠方から呼び寄せた親御さんのサービス利用についてなどが目立ち地域性を考えた支援のあり方を検討しました。
- ・ 継続相談も多く、常に3職種が情報共有し連携して対応してきました。
- ・ 専門職としてのスキルアップを心掛け、各職種それぞれが受けた研修は回覧や伝達研修で共有しました。

イ 地域包括支援ネットワークの構築

- ・ 区と包括カンファは毎月実施し、多問題や虐待ケースなどを検討し情報共有、役割分担をして対応にあたりました。
- ・ 包括カンファレンスもほぼ毎月開催し、医療機関、地域のケアマネジャーやサービス事業者などとの連携を深めることができました。
- ・ 小規模多機能事業者の運営推進会議にはできる限り出席し連携強化に努めました。

ウ 実態把握

- ・ 28年度も「一人暮らし高齢者地域見守り推進事業」において民生委員と面談等で実態把握を行いました。
- ・ 自治会や地域のサロンなどに出向き包括の周知や介護保険の講話などを行った際にも高齢者の情報を聞き取り個人情報には十分留意しながら情報収集しました。
- ・ 民生委員や保健活動推進員、医療機関などのネットワークを活用し独居や認知症高齢者の実態把握を行い個別訪問などで支援に繋げました。

(2) 権利擁護

ア 権利擁護

- ・ 6月に法テラス神奈川との共催で無料法律相談会を実施しました。普段は敷居の高さを感じる弁護士相談が身近なものと感じられたとの感想が寄せられました。また、この企画をきっかけに包括カンファの実施に繋がり、地域のケアマネジャーと法テラス神奈川との連携も生まれました。
- ・ 11月には「介護者のつどい」において行政書士による成年後見の実際について講話を実施しました。
- ・ 12月と1月には司法書士や税理士などを講師に迎え「遺言・相続セミナー」を2回シリーズで開催しました。

イ 高齢者虐待

- ・ 区と連携し虐待ネットワークミーティングを3回実施し支援方法を検討しました。
- ・ 虐待をしている養護者も支援していく、という視点でケースに関わり介護者のつどいを紹介するなど介護者のレスパイト支援にも力を入れました。
- ・ 早期発見のために常に民生委員など地域の関係機関とのスムーズな連携の構築に努めました。

ウ 認知症

- ・ 認知症初期集中支援チーム会議にケースを挙げ医師や参加者からのコメントをいただき支援に活かしました。
- ・ 「認知症サポーター養成講座」を 5 回実施、対象も消防署職員や中学生など、今後の連携や将来の地域の担い手を見据えての実施でした。（他包括合同の回もあり）
- ・ 「青葉区はいかいネット」の普及も行い、登録に至ったケースもありました。

(3) 介護予防マネジメント

ア 介護予防ケアマネジメント力

- ・ 要支援者に対し介護予防について説明を行いながら、ご自身の意欲を引き出せるような具体的な目標設定が出来るようコミュニケーションを意識して関わるようにしました。総合事業移行に際しては、パンフレットを利用しながらわかりやすい言葉に置き換えながら丁寧な説明を心がけました。
- ・ 委託先のケアマネジャーとは日頃から連絡を密にとりサービス担当者会議等に参加し自立支援を共通目標に支援方法の意見交換を行いました。
- ・ インフォーマルサービスについては、ケアプラザ事業や元気づくりステーションなどの情報提供を行いました。
- ・ 介護予防従事者研修や包括カンファレンスなどではケアマネジャーの意見が反映されるよう事前にアンケートを実施し介護予防の視点で内容を検討しました。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ ほぼ毎月、包括カンファレンスを開催し、協力医とケアマネジャーの交流や、薬局、サービス事業所、そして法テラス神奈川などとの情報交換会で、医療・介護・法律など様々な関係機関と連携を深めました。
- ・ 民生委員や保健活動推進員、友愛活動員等の集まりに出向き、地域ケアシステムや地域ケア会議、介護保険制度やサービス利用、ケアマネジャーの役割などについて講話を行いました。
- ・ 地域のインフォーマルサービスや関係機関などの地域資源を生活支援コーディネーターと連携しながら整理し、まとめ、介護保険に頼らない支援の在り方もケアマネジャーに考えてもらいながら情報提供してきました。
- ・ 28 年度も地区の民生委員の見守り事業へ協力支援を行いました。

イ 医療・介護の連携推進支援

- ・ 主任ケアマネジャー分科会やケアマネジャー連絡会等と協力し、医療関係者との情報交換会、勉強会を行う「医療連携会議」「顔の見える関係作り会議」を通し連携を深めました。
- ・ エリア内近傍の含めた医療機関リストや医療機関のパンフレットなどの情報を集め、青葉区在宅医療連携拠点と連携し包括カンファの中で意見交換会などを開催しました。
- ・ 地域ケア会議等を通じて関係機関との連携を深める機会を多く作ることができました。次年度はさらに促進したいと思います。
- ・ ねっとわーく青葉と連携し、包括カンファなどの機会を利用して、医療関係者と福祉介護関係者の意見交換会などを開催しました。

ウ ケアマネジャー支援

- ・地域のケアマネ事業所を概ね月1回程度訪問し、最新の情報を提供するとともに、気軽に相談しやすい関係性を構築し、困難ケースなどの早期対応・悪化予防・相談支援を行いました。
- ・3職種それぞれの専門性を活かし、ケースに応じた的確な助言ができるように、情報共有し連携して支援しました。
- ・区役所や主任ケアマネジャー分科会と協力して新任ケアマネジャーへの研修・実習支援を年2回開催し実習生を2人受け入れました。
- ・主任ケアマネジャー分科会と協力してケアマネジャー自主勉強会の自主的な活動を支援しました。
- ・支援困難ケースについては、速やかに区役所と連携し役割分担しながら対応しました。

エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・地域ケア会議を開催、会議を積み重ねることで、医療機関や介護保険事業者ばかりでなく、地域関係者もネットワークの輪に参加、支援者の一員として会議に参加していただきました。
- ・包括カンファレンスにおいて、他職種連携・多職種協働の関係構築を支援し、新たなネットワークや関係構築を図りました。

(5) 介護予防事業

ア 介護予防事業

- ・介護予防普及啓発事業では、若々しさを保つ歩き方教室の講座を開催し参加者から、希望を募り、個別にロコモ予防相談を含めた正しい歩き方教室を開催する。運動プログラム中心に実施し好評を得ました。
- ・栄養講座や健口セミナーについては、男性参加者を意識してグループで参加できるよう活動グループへ参加を依頼しました。仲間同士で意見交換ができました。
- ・認知症予防カフェでは、コーヒーボランティアの協力を得ながら、スリーAのプログラムを行い楽しみながら認知症予防について考えることができ参加者に好評でした。
- ・元気づくりステーション恩田では月2回程度スクエアステップを実施しました。スクエアステップ以外にコグニサイズを取り入れプログラム内容を検討しながらの実施となりました。
- ・ノルデックウォーキングは天候に左右されながらも、少しずつ参加者人数も増えており、グループ活動に広がりを持っているように感じます。

(6) 生活支援体制整備事業

ア 実施したこと

- ・総合相談表から地域別相談内容を分類し、支援ニーズの地域特性の把握を行い、また包括のデータから要支援、要介護者の地域分布をマップに作成し可視化できるように行いました。
- ・要支援、要介護者へのアンケートを包括とケアマネの協力のもと行い、その生活の特徴とニーズの分析を行いました。
- ・それらの分析結果を運営協議会や連絡会などで報告を行いました。
- ・担当地区すべての老人会、自治会、民児協に生活支援整備体制事業の説明を行い、顔の見える関係づくりを行いました。
- ・地域の住民主体のサロンや活動を調査し、参加しながら聞き取りを行い、活動の実

態の把握を行いました。また情報をリスト化し活用できるように行いました。

- ・地域ケア会議に参加をし、そこから引き続き地域の課題を具体化できるよう協議体として取り組み、継続をしています。
- ・5職種会議を定期的に行い地域交流や包括3職種との連携について取り組んで参りました。
- ・区役所、区社会福祉協議会とも連絡会や協議体で相談や連絡を常に行い、情報の共有と地域課題の改善について、ともに取り組んでおります。

8 その他

| |
|--|
| |
| |

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市恩田地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

| | 科目 | 地域活動交流 | 地域包括支援センター | | | 居宅介護支援 | 通所介護 | 予防通所介護 ・ 第1号通所介護 | 生活支援体制 整備事業 |
|---------------------|----------------|---------------|---------------|------------|------------|-------------|----------|------------------------|----------------|
| | | | 包括的支援 | 介護予防事業 | 介護予防支援 | | | | |
| 収入 | 指定管理料等収入 | 17,949 | 23,212 | 151 | | | | | 5,789 |
| | 介護保険収入 | 0 | | | 6,850 | 18,177 | | | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 151 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 介護予防ケアマネジメント費 | | | | 151 | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 収入合計(A) | 17,949 | 23,212 | 151 | 7,001 | 18,177 | 0 | 0 | 5,789 |
| 支出 | 人件費 | 8,624 | 20,161 | | 710 | 15,743 | | | 3,040 |
| | 事務費 | 2,074 | 1,214 | | 5,842 | 1,209 | | | |
| | 事業費 | 63 | 0 | 151 | 311 | 101 | | | 309 |
| | 管理費 | 4,479 | 1,190 | | | | | | |
| | その他 | 708 | 294 | 0 | 209 | 1,475 | 0 | 0 | 0 |
| | 施設使用料相当額 | | | | | | | | |
| | 協力医謝金 | | 294 | | | | | | |
| | 消費税他 | 690 | | | 209 | 1,475 | | | |
| 運営協議会 | 18 | | | | | | | | |
| | 支出合計(B) | 15,948 | 22,859 | 151 | 7,072 | 18,528 | 0 | 0 | 3,349 |
| 収支 (A) - (B) | | 2,001 | 353 | 0 | -71 | -351 | 0 | 0 | 2,440 |

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

| 事業名 | ①募集対象 | 自主事業予算額 | | | | | |
|--------------------|------------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | ②募集人数 | 総経費 | 収入 | | 支出 | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | 講師謝金 | 材料費 | その他 |
| おりがみキッズ | 未就園児 | | | | | | |
| | 15名 | | | | | | |
| | 無料 | 579 | 579 | 0 | 0 | 579 | 0 |
| みんなで昼食会 | 概ね70歳以上 | | | | | | |
| | 15名 | | | | | | |
| | 500円 | 19499 | 19499 | 19000 | 0 | 14531 | 4968 |
| 父の日企画 | 小学生 | | | | | | |
| | 40名 | | | | | | |
| | 450円 | 18000 | 18000 | 18000 | 0 | 18000 | 0 |
| 親子で 背骨コンディショニング | 未就園児とその保護者 | | | | | | |
| | 10組 | | | | | | |
| | 300円 | 3000 | 3000 | 3000 | 3000 | 0 | 0 |
| か～る軽体操 | 60歳以上の方 | | | | | | |
| | 20名 | | | | | | |
| | 300円 | 135386 | 135386 | 115500 | 122506 | 0 | 12880 |
| 悠YOUmen's② | 65歳以上の男性 | | | | | | |
| | 18名 | | | | | | |
| | 500円 | 150500 | 150500 | 150500 | 0 | 122214 | 28286 |
| 実験教室 | 小学生 | | | | | | |
| | 25名 | | | | | | |
| | 300～400円 | 48617 | 48617 | 11600 | 16000 | 32617 | 0 |
| なごみサロン | 65歳以上 | | | | | | |
| | 20名 | | | | | | |
| | 100円 | 11893 | 11893 | 11400 | 0 | 11893 | 0 |
| 生活お役立ち講座 | どなたでも | | | | | | |
| | 25名 | | | | | | |
| | 0～300円 | 16500 | 16500 | 16500 | 16500 | 0 | 0 |
| 骨盤底筋トレーニング塾 | 女性 | | | | | | |
| | 25名 | | | | | | |
| | 300円 | 163013 | 163013 | 159250 | 122505 | 0 | 40508 |
| うたの広場 | どなたでも | | | | | | |
| | 25名 | | | | | | |
| | 300円 | 78816 | 78816 | 61100 | 66816 | 0 | 12000 |
| 手芸倶楽部 | どなたでも | | | | | | |
| | 20名 | | | | | | |
| | 無料～300円 | 15693 | 15693 | 12000 | 0 | 15693 | 0 |
| | | 661496 | 661496 | 577850 | 347327 | 215527 | 82116 |

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|---|----------------------|
| か～る軽体操 | イスに座り、軽いストレッチと運動を組み合わせた体操。継続して行うことにより、高齢者の健康維持を目的とする。 | 月 2 回 第 2 ・ 4 金曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|----------|
| コーヒー日和 | コーヒーボランティア養成講座を修了した方の活動を支援する。コーヒーをツールとして地域の方同士が交流し情報交換する場を設け、仲間作りが出来るよう目指す。昨年度好評であった為、今年度はケアプラザのみならず、区民活動支援センター、桂台コミハにも出張して実施する | 不定期 回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|--|---------------------------------|
| もみじのおてて | 恩田地区にある、もみじ保育園と共催。毎月テーマを決め、子育ての情報を発信し、地域の子育て世代のサポートを行う。子どもと保護者の関わりを深める為の体操や遊びを提案 | 5 月～平成 2 9 年 2 月まで 毎月 1 回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------------------------|---|---|
| 小さいいちご 大きいいちご 親子のひろば | 子どもの月齢に合わせて、気軽に利用出来るフリースペースを常設。保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。1 2 時～ 1 3 時まではランチタイムとする。 | 小さいいちご 毎週月・水 大きいいちご 毎週火・木 親子のひろば 不定期 |

平成28年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-------------|---|---------|
| 悠YOUmen's①② | 2グループ活動中。 定年退職した男性の地域での活動の場づくり。 料理の集まりを通してボランティアとして活動出来るよう育成し、ケアプラザ事業や地域の活動に参加していく。 | 月2回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|---------------|
| なごみサロン | 概ね65歳以上の方が気軽に集えるサロン。 地域の方同士がお茶を飲みながらおしゃべりをし、交流を深める。 | 毎月1回 第1水曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------------|--|---------|
| 骨盤底筋トレーニング塾 | ピラティス・エクササイズで骨盤底筋を鍛え、尿漏れや腰痛を予防・解消し、外出を控える等閉じこもりの生活になることを防ぐと共に、介護予防を意識する。 | 月2回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------|--|---------|
| お花のボランティア | ケアプラザや地域で活動するお花のボランティアを養成する。 これまでボランティア活動をしたことがない方でも趣味を生かして、地域の活動に参加出来るよう繋げていく。 | 4回 |

平成28年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-------|--|-----------------|
| 手芸倶楽部 | 手芸を通じた地域の方の交流の場。 趣味の小物作り、寄付用の布おもちゃ作成。 ボランティアグループの育成。 | 月2回 第1・第3火曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------------|--|---------|
| うたの広場 @恩田 | 唱歌やフォークソング、流行の歌等を歌ったり、楽器を使ってリズムをとって音楽を楽しみ、地域の方同士の交流を深める。 | 第1金曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---------------|----------------|
| まちかど相談 | 行政書士による無料相談会。 | 第2火曜日 第4土曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------|---|---------|
| 将棋の会 | 地域の老人会の囲碁・将棋の会に協力を頂いて実施。 将棋や囲碁を通して、地域の高齢者と子どもの交流の場を設ける。 老人会に属さない高齢者、特に男性の居場所作り。 | 第4土曜日 |

平成28年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------------------------|---|---------|
| 母の日企画 キャンディー・ ブーケ作り | 小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。母の日に合わせて企画。 母親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める | 1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------------------------|---|---------|
| 父の日企画 オリジナルカッ プ作り | 小学生（主に新1年生）とその保護者へケアプラザの周知。父の日に合わせて企画。 父親へ日頃の感謝の気持ちを伝えるきっかけ作りをし、家族の絆を深める | 1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|---------|
| ぶれいぱ〜く | 気軽に利用出来る親子のあそび場。 保護者同士の交流を促し、子育て中の保護者の孤立を防ぐ。季節に合わせた行事や工作等を行い、子育てを楽しむ。 | 毎月第4木曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|----------------------------------|---------|
| みんなで昼食会 | 悠YOUmen'sによる、地域にお住いの独居の高齢者との食事会。 | 1回 |

平成28年度 自主事業報告書

横浜市恩田地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------|-------------------------------|-----------|
| 生活お役立ち講座 | 生活に今すぐ役立つテーマを取り上げ、最新の情報を発信する。 | 不定期 8回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------------|---|---------|
| あゆちゃんとうたってあそぼう | 未就園児とその保護者の居場所作り。 童謡を歌ったり手遊びをして、パネルシアターとリトミックを楽しむ。 地域の保育士とピアニストのボランティアへ活動の場の提供。 | 第3水曜日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------|---|---------|
| 実験教室 | 身近にあるものでもので物作りをし、科学に親しむ。 小学生やその保護者にケアプラザの周知。 | 年3回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------------|---|---------|
| 認知症予防 カフェ | 認知症の正しい知識を身に着け、認知症予防の体操や取り組みを実施。コーヒーボランティアが提供するコーヒーを飲みながら、交流を深める。 包括と共催。 | 2回 |

平成28年度 自主事業報告書

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-----------|--|---------|
| コーヒーで地域貢献 | コーヒーボランティアがグループとして自主的に活動出来るよう支援する。月1回練習会を設け、コーヒー日和やフェスタ、地域活動等でコーヒーを提供する。 | 月1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|---|---------|
| おりがみキッズ | 子ども達に伝承遊びの1つである折り紙に触れる機会を作る。未就園児を子育て中の母親の交流の場としながら、高齢者の参加希望者も受け入れ、異世代交流の場とする。 | 第3火曜日 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-------|---|---------|
| 恩古知新隊 | 昨年度「恩田今昔物語」に熱心に参加された方々に、企画の段階からご協力を頂き、自分達で作る講座を実施。地域の歴史ある神社等のお祭りに参加したり、地域に長くお住まいの方からお話を伺い、自分達の住むまちに愛着を持つ。 | 3回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|---------|
| 恩田今昔物語 | 対象は恩田地区にお住まいの方。地域の課題5つ（認知症・環境整備・障がい・子どもの貧困・子育て）を挙げて、その課題に取り組む方の話を聞いた後、話し合いの時間を設けて自分達に出来ることを考えました。 | 5回 |

平成28年度 自主事業報告書

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------|------------------------|---------|
| おんちゃんの部屋 | 隣接するあかね台中学校の定期テスト前の自習室 | 15回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----|---|---------|
| 自習室 | 近隣に図書館などの公共施設がない為、中学生の学習スペースの確保や地域の方が静かに読書をしたり学ぶ場として、土日祝日の空いている部屋を活用する。 | 土日・祝日 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------------|---|---------|
| からだにいいことセミナー | 病気に対する正しい知識を得て、情報を整理することで、疾患の予防に繋げると共に身近な医療機関や窓口を知る機会とする。 | 4回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------|-----------------------------------|---------|
| 水あそび | 月齢を問わない、未就園児が親子で遊べる、夏季限定のフリースペース。 | 2回 |

平成28年度 自主事業報告書

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|---|---------|
| クリスマス会 | 「あゆちゃんとうたってあそぼう」「ふれいぱ〜く」合同企画。ピアノの音に合わせて、童謡を歌ったり手遊びをし、パネルシアターを見て楽しむ。 保育士とピアニストがボランティアで行う。子育て中の母親が孤立せず、子育てを楽しめるよう季節に合わせた行事を企画。 | 1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------|---|---------|
| ボランティア交流会 | 日頃、ケアプラザ事業などにご協力頂いているボランティアさんを労い、ボランティア同士が情報交換出来る場。 | 1回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|--|---------|
| わいわいランチ | 地域住民の仲間作りと井戸端会議のような地域の情報交換の場。 地域にある障がい施設の食堂を利用することで、地域住民に施設の紹介をし、障がい者の地域での活動を知る機会とする。 包括と共催。 | 1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----|-------|---------|
| | | |